

は し が き

2次試験合格の秘訣は、問題の本質を理解することである。

難しそうな問題でも問われている内容は、基本的かつ本質的な知識である。「市場と経済」では、問題で与えられている資料(図や表)の読み方・捉え方に戸惑っているだけである。

その戸惑いを克服し、合格答案の書き方をマスターするには、図や表の見方をその背景にある実体経済の状況を理解することに心掛けることである。そして、基本的なテーマの本質を理解することである。

問題出題の観点は、日本経済、金融経済及び国際経済の実体をいかに捉えて分析・評価できるかである。

そのような実体分析問題に対処するためには、その分析ツールとなっている「ファイナンスのためのミクロ経済」や、景気を牽引する民間の「企業の設備投資行動」・「家計の消費行動」、政府の「財政行動」、日銀の「金融政策」などの基礎理論の理解が不可欠である。

本書は、実体経済の分析ツールである経済の基礎理論について簡単に説明し、実体経済のうち、特に重要と思われる問題点(ex. ゲーム理論、情報の経済学、家計・企業・政府のISバランス、景気動向の予測方法、財政・金融政策の効果、日銀の金融政策の考え方、マネーフロー表、為替レートの決定、経常収支の不均衡と実質実効為替レート、為替市場への介入など)を中心として取り上げ、試験問題に対処できるようにしてある。

本書で記述されている経済理論の分析ツールの理解だけで、十分に合格点がとれる答案を記述することができるので、基礎的な経済理論・分析ルールを理解するように心掛け、本書を読めば十分である。

本書と姉妹書である「過去問解説(日本証券アナリスト協会掲載許諾)」との併用でより理解が深まります。

最後に、拙書が受験者の合格の一助になれば幸いである。